



さろま

50/12

第219号

発行 佐呂間町役場 印刷 井谷印刷株式会社

私たちのまち

世帯数 2,630

人口 9,497

男 4,650

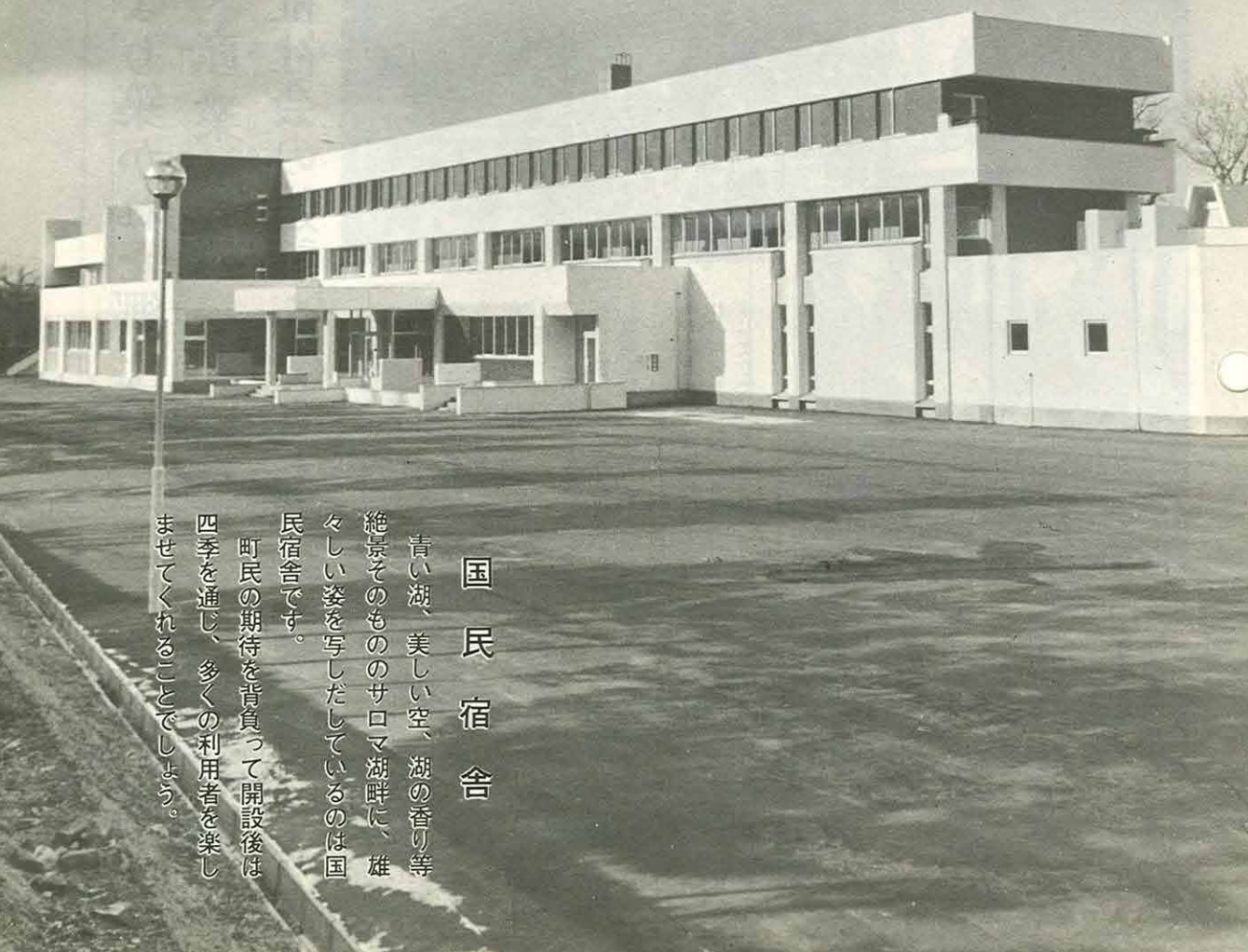
女 4,847

11月30日現在

国民宿舎

青い湖、美しい空、湖の香り等
絶景そのもののサロマ湖畔に、雄
々しい姿を写しだしているのは国
民宿舎です。

町民の期待を背負って開設後は
四季を通じ、多くの利用者を楽し
ませてくれることでしょう。



周年開町60周年記念式典挙行

27年 開町 大正4年



開基80周年開町60周年国民宿舎落成記念式典

場内禁煙

先人の労苦により築かれた郷土に
のびゆく産業と

高福祉社会の建設をめざして



佐呂間町開基八十周年、開町六十周年記念式典が、十二月十一日佐呂間町体育館に、国會議員、道會議員、網走支庁長など、町外から多くの来賓を招き、約五百名の御出席者を得て盛大に挙行されました。

本町は明治二十七年に川口（現浜佐呂間）に鈴木基五郎氏が定住し農業を営んだのが、本町開基のはじまりであり、又、開町は大正四年に北海道二級町村制が施行され、村名を佐呂間と改称したのがはじまりで、爾來開基八十周年開

町六十周年を迎えたわけですが、樹木が生茂る未開の荒野に開墾の鋤をおろし、土地を開拓し、漁業資源を開発され、今日の地味肥沃な耕地と豊かな天然資源を生みだす基礎を築かれた先人の偉業に対し、その業績を讃え、深甚なる敬意を表します。

驚異的成長を遂げる日本経済の中にあって、町内諸産業の基盤も強化され、生産も逐年累増し、教育の充実、民生の安定、道路交通網の整備等も進み、緑豊かな郷土として建設されつつありますことは町民各位の郷土を愛する精神にあるものと確信いたすものであります。

この記念式典を機会にこれから佐呂間町を築く、町民各位の指標とするため、町民憲章を制定いたしました。

今後この憲章に則り豊かで平和な住みよい、理想郷を建設するため、新しい佐呂間町を築くために皆様の絶大なる尽力を賜りますことを期待して止みません。

感謝状贈呈者

・元理事者

土田 正、鈴木 醇

・寄附者

菊地エイ、片岡丑治、鈴木静男、杉谷 保、今野タイ、村上道蔵、遠軽信用金庫、小田 稔

・現理事者

船木長一郎、仲川卓美、相田政之

佐呂間町民憲章

わたくしたちは、森と湖のきびしい大自然の中で開拓した
先人のたくましい精神を受けつぐ佐呂間町民であることを誇
りとしています。

わたくしたちは、自然の恵みに感謝しながら生きがいのあ
る生活を確認し、希望と自信をもって、ひとりひとりの幸せ
と未来に伸びゆく豊かで明るいまちをつくるため、この憲章
を定めます。

わたくしたち佐呂間町民は、英知と友愛と勇気をもって、

1. 自然の恵みを生かし、美しく住みよいまちをつくります

1. 進んできまりを守り、明るく平和なまちをつくります

1. たがいに助け合い、あたたかく幸せなまちをつくります

1. 仕事に誇りをもち、楽しく豊かなまちをつくります

1. 若い力をそだて、伸びゆく文化のまちをつくります

(昭和50年11月制定)

開基80

開基 明治

表彰状贈呈者

◆町議会議員

勤続三十五年以上 船木長蔵
勤続二十年以上 久米田鶴夫
山内春芳、伊藤太郎、福田幸
教、西 喜作

◆国民宿舎工事関係者

山上建設株式会社
池田煖房工業株式会社
北海道電業株式会社
株式会社岡設計事務所札幌
支店

勤続十二年以上 田中喜重
◆農業委員

勤続十五年以上 久米田鶴夫、
福田幸教、本田政男、平戸康

◆教育委員 山口義夫

◆民生委員 安藤 薫

◆選管委員 豊田通幸

◆町 医 小田 稔、今野タイ
矢坂庸三

◆固定資産評価審査委員 林 葆

◆国保運営委員 山元邦良、林葆

◆消防関係 片平俊男

勤続三十五年以上 向井 薫

勤続二十五年以上 深尾正則、

大沢一男、神野敏美、渡部操

山内繁美、尾方秀夫、武田正

門、大角忠、高橋光利、吉田

喜重、佐久美常夫、谷口義勝

関東勝、吉野正夫、小林久男

十亀時雄、室井勝三、土門善

蔵、亀井芳位、本田竹千代、

齊藤公男、諸岡好幸、折出保

西川貞夫、田中喜一、森田正

則、片平岩男、広瀬一郎、大

塚勝男

勤続二十年以上 藤田清、寺山

辰雄、小野祐次、稲葉昭男、

住吉不二夫、鈴木重一、堺潔

田口和久、増子正義、片平久

男、香川茂、石川昭治、植田

章、山内雅一、岸二郎、吉村

高夫、渡部定義、山内勇、阪

元克伸、面敏夫、金森農夫也

堀口拓雄、嶋田博、及川正好

秋元益吉、上野昭市、土田邦

夫、稲葉光与

◆統計調査員

勤続三十年以上 矢吹俊治、後
藤助夫、郡利夫、山下正治、
齊藤公男

勤続二十五年以上 仁義信太郎

渡部幸孝、川尻弘、小島善之

丞、鈴木幸一、穴戸清信、佐

野孝一、中津川智、吉口正美

林俊雄、内田忠 齊藤昇、鈴

木義雄

勤続二十年以上 太田米蔵、宝

里重明、山内繁美、佐藤市太

郎、田口勘一、三浦政市、今

井成行、橋本秀市、阿部松男

小林小市、河村登

◆役場職員

勤続二十五年以上 玉井清、大

島満、小野公啓、幸松良茂、

皆川秀一、中村一雄、岸本勲

田川敏之、相沢武、吉野一利

越智義勝、田町幸夫、市川弘

勤続二十年以上 矢口豊一、吉

川好幸、田中利行、諸岡照男

有光乙二、藤岡正重、宮崎正

義、越智一、川崎謹一、河本

孝治、小池栄、安藤雄治、幸

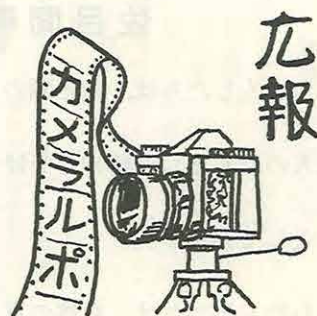
松博義、宇佐美不二夫、山本

良一、川尻正、嘉村孝一、瀬

戸竹安、河本由良子



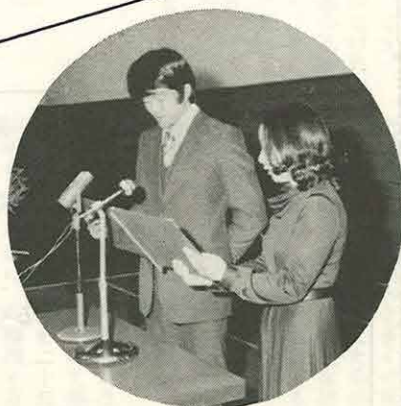
国民宿舎さろま湖華苑落成



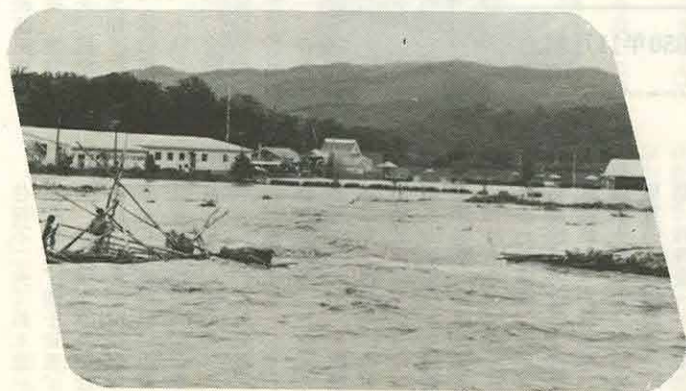
10大ニュース



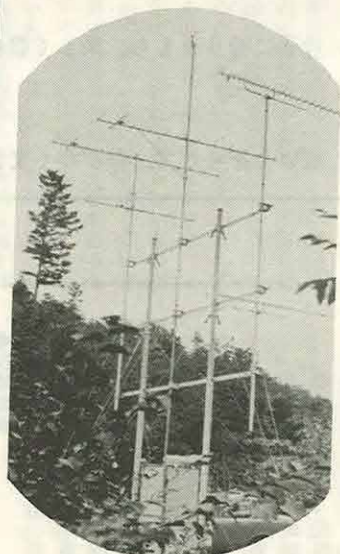
特別養護老人ホーム「愛の園」開園



町民憲章制定



9月豪雨災害 仁倉川堤防欠壊



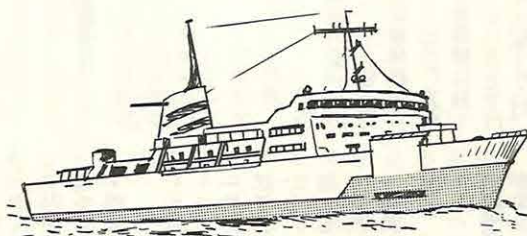
佐呂間市街テレビ共同受信
施設完成



開基80周年開町60周年記念式典挙行



端野～若佐線国道昇格 (333号線)



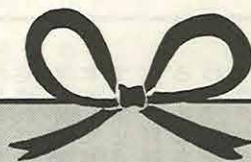
近海郵船フェリー
“さろま”就航



交通事故死ゼロ 400日間目標達成

佐呂間町

ことしの



故佐呂間医院院長今野章氏町葬告別式



町葬執行 (今野医師逝く)

その他の

ニュース

- ・一九七五年国勢調査実施
- ・遠軽地区連合消防演習
- ・網走管内社会福祉大会
- ・湧網線のSL廃止
- ・若里へき地保育所開設
- ・町指定金融機関に遠軽信用金庫を指定する
- ・農業委員会委員選挙
- ・佐呂間林業公社設立
- ・富武士簡易水道水源地拡張工事
- ・除雪センターの建設
- ・佐呂間青年団体協議会創立
- ・二十周年記念式典挙行
- ・佐呂間ロータリークラブが国際ロータリークラブに加盟

町議会より

(臨時第八回)

臨時第八回町議会を十一月十七日開会し、職員の給与条例の改正と一般会計及び各特別会計予算の補正を行った。

▼補正予算

一般会計補正予算(第九号)
才入才出にそれぞれ二千八百二十三万円を追加し、才入才出予算の総額を十八億八千六百三十八万円とする。

主なる補正額

- ・職員の給与と改訂による給与費 八六五万八千円
- ・開基八十周年記念式典経費 四二〇万円
- ・佐呂間湖観光開発公社出資金 一千一〇〇万円
- ・小破修繕料 四一万円
- ・遠軽地区消防組合負担金 二七万五千円
- ・文教施設整備基金利子積立金 九一万二千円
- ・小中学校業務委託料 四八万円
- ・飲料水給水施設補償費 二四万八千円
- ・老人医療事業国庫負担金返納金 四一万二千円

町有林特別会計補正予算

才入才出にそれぞれ増減を行わず、職員の給与と改訂に要する給与費三十八万四千円を予備費から科目変更した。

簡易水道特別会計補正予算

才入才出にそれぞれ五百十四万七千円を追加し、才入才出予算の総額を一億二千七百九十六千円とする。

主なる補正額

- (才入)
- ・浜佐呂間簡水基金繰入金 六〇万円
- ・佐呂間簡水給水施設維持料 三〇〇万円
- ・浜佐呂間簡水給水施設維持料 五八万五千円
- ・富士簡水給水施設維持料 四二万四千円
- ・若佐簡水配水管切替工事補償費 五三万八千円

(才出)

- ・給水施設工事費 三〇〇万円
- ・若佐簡水配水管切替工事 五三万八千円
- ・浜佐呂間簡水水源汚濁防止工事 六〇万円
- ・浜佐呂間簡水給水施設費 五八万五千円
- ・富士簡水給水施設費 四二万四千円

国民健康保険特別会計補正予算

才入才出からそれぞれ四十八万八千円を減額し、才入才出予算の総額を二億八千四百五十四千円とする。

と場特別会計補正予算

才入才出にそれぞれ七十五万二千円を追加し、才入才出予算の総額を七百二十五万七千円とする。

・職員給与と改訂による給与費

一〇万二千円

・と場人夫賃

六五万円

一般乗合旅客運送事業特別会計補正予算

才入才出にそれぞれ七十万円を追加し、才入才出予算の総額を一千五八三万一千円とする。

・職員給与と改訂による給与費

六五万一千円

▼条例の改正

職員の給与と改訂による条例の一部改正

職員の給与と改訂による条例の一部が改正されました。

主な改正点

- ・別表給料表を改正し職員の給与を一〇・八五%引上げました。
- ・扶養手当の額を配偶者は六、〇〇〇円、その他の扶養親族は二、〇〇〇円(職員に配偶者がいない場合はそのうち一人に四、〇〇〇円)に改正いたしました。
- ・通勤手当の額を改訂しました。
- ・住居手当の額を改訂しました。

▼その他

町民憲章の制定

開基八十周年開町六十周年を記念して、佐呂間町民憲章を制定いたしました。

憲章文は別に掲載します。

公職選挙法が

次のようになりまし

国会で公職選挙法の一部を改正する法律が成立し十月十四日から施行されました。

今回の改正は「選挙の公正な確保」と「金のかからない選挙」の実現を目的としたものです。

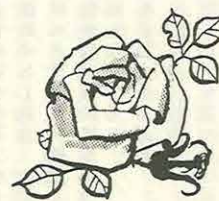
改正の主な内容は次の通りです。

一、寄附の禁止

(1)公職選挙法における寄附の意義
寄附は財産上の利益を与え、又はこれらを与えることを約束することであり、今回の改正では花輪、供花、香典、祝儀、記念品又は見舞品等も、この法律では「寄附」に含まれることとなります。

(2)公職の候補者等の寄附の禁止

公職の候補者など(立候補予定者及び現在公職にある者も含む)が選挙区内の者に行う寄附については従来から選挙に関しては禁止されていましたが、現実には日常冠婚葬祭をはじめいろいろな名目による寄附が行なわれ、その弊害が指摘され選挙に金がかかる大きな原因となっていたため、
「政党や政治団体に対する寄附親族に対する寄附」
「政治講習会等における実費を補償する」



場合を除き選挙区内の者に寄附することは全面的に禁止されました。

したがって、公職の候補者などが次のような行為をしたときは法律に違反することになります

◎中元や歳暮を贈ること

◎祭の寄附をしたり酒を届けること

◎開店祝いや落成式に、花輪を贈ること

◎出産、入学、卒業、就職、結婚式等の祝いや病氣見舞にお金や品物を贈ること

◎葬式に香典や花輪を贈ること

◎町内会等の集りに、金を寄附したり食事や酒を届けること

又一方、公職の候補者などに対して、寄附を求めることは、法律に違反することになります。

以上改正の主な内容をお知らせいたしました。

佐呂間町選挙管理委員会



婦人科がん検診の結果が出ました

去る十一月六日より四日間に行き実施致しました婦人科がん検診の集計結果が出ました。

表Ⅱをのぞいて下さい。

四〇才代の有見者率三八%を最低に六〇才代が七二・七%という高い有見率が出ているのがわかります。全年令を平均してみても五七・一%半分以上の人に何らかの異常が認められた訳です。

三〇代には腫瘍部びらん、ついで子宮筋腫

四〇代には子宮筋腫、ついで腫瘍部びらん

五〇代以降には腫瘍が圧倒的に多くなっています。

次に表Ⅰですが、今年度は前年度より九五人多い三九九人が受診されていますが、残念ながら自分では申し込まれたかた五四四名中実際に受診されたかたは三九九名で二七%の人が未受診な訳です。そして又、婦人科がん検診の対象者

部 落 別 受 診 状 況 (対がん協会分) 表Ⅲ

部 落	対象者数 (30才以上)	申し込み数	受診者数	受診率%
共 立	111	12	3	2.7
大成、栄	116	23	13	11.2
啓 生	42	9	5	11.9
栃 木	45	5	1	22.2
中園、川西	92	22	9	9.8
若 佐	195	39	33	16.9
武 士	71	16	10	14.1
富 丘	46	7	6	13.0
朝 日	36	1	1	2.8
西 富	276	32	24	8.7
北 東	95	13	10	10.5
	47	5	4	8.5
市 街	644	141	124	19.3
知 来	130	22	15	11.5
仁 倉	130	44	29	22.3
浜佐呂間	237	61	54	22.8
幌 岩	61	20	12	19.7
浪 速	16	7	6	37.5
富 武 士	156	48	27	17.3
若 里	162	17	13	8.0
合 計	2,708	544	399	14.7

(三〇才以上)の一四・七%しか受診していない状態です。しかも一四・七%の受診者の半分以上の人に何らかの異常が認められることから、未受診者の中にも相当数の異常を有する人がいると考えられます。

以上今まで述べてきましたが、どのような病気でも、かからないことが基本です。不幸にして病気になる場合には早いうちに発見して治療することが大切です。

症状が出てからでは遅いのです。皆さん一人一人が自覚をもち、来年度の検診には今回以上の人が参加されることを期待しております

参考までに

子宮筋腫は子宮の良性のできもので、三五才以上の婦人では約二〇%は筋腫があるといわれています。

表Ⅰ

	実施した場所	対象者数 (30才以上)	申し込み数	実際に受けた人数
11月16日	若 佐 公 民 館	672	124	75
17日	社会福祉会館	806	155	120
8日	"	786	133	107
10日	浜佐呂間公民館	444	132	97

年令別有所見者割合表								表Ⅱ
	受診者数	異常なし	有所見者内訳(疑)					有所見者率%
			子宮筋腫	ポリープ	腫瘍	びらん	その他	
29才以下	10	5	—	—	1	3	1	50.0
30～39才	134	77	17	2	5	35	17	42.5
40～49才	166	103	25	1	10	19	17	38.1
50～59才	78	40	3	3	29	2	7	48.0
60～69才	11	3	—	1	8	—	—	72.7
計	399	228	45	7	53	59	42	57.1

る。大きさが鶏卵大以下で出血、疼痛などの症状のないものは経過をみることも可能である。

子宮腫瘍部びらん

子宮からの分泌物が多いため刺激となつて腫瘍の粘膜が破壊され、びらんが生じる。

軽度のものは心配ない。

腫瘍

成熟期婦人に多いのはトリコモナス腫瘍、閉経後の婦人に多いのは老人性腫瘍である。トリコモナス腫瘍の治療は夫婦ともに受けること。

乳幼児健康相談

若佐公民館 毎月第一木曜日 午後一時より

社会福祉会館 毎月第二木曜日 午前九時三十分より

浜佐呂間公民館 毎月第三木曜日 午後一時より

妊婦検診

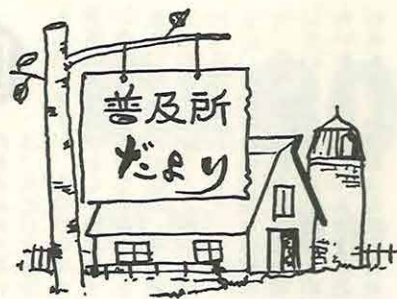
社会福祉会館 毎月第一水曜日 午後より

一般健康相談

社会福祉会館 毎週土曜日 毎月第一月曜日 午前中

若佐公民館 午前中

浜佐呂間公民館 毎月第一火曜日 午前中



昭和50年の

しめくりと
来年への心がまえ

今年は経済的にも気象的にも変化の多い多難な年でした。

思ったよりよかったと喜ぶ人、ふんこんはすでなかつたのだと、力を落す方などいろいろある事と思いますが、一ヶ年経営の決算をする時期になりました。

最近の新聞、テレビ等のニュースは経営の苦しさの報道が多い、太会社から家族経営の商店や漁家として親方日の丸まで赤字、赤字と伝えています。

農家はかりが特別苦しい訳ではない様です。しかしそんな中でも良い企業や経営も随分あります。

農業だって例外ではありません。だめな時もう一度じっくり百年の計のため、わが家の経営を基本から検討するチャンスではないでしょうか。

検討のめやすとして古くて新しい

言葉ですが是非思い出していただきたいものです。

ムリ、ムダ、ムラの三ムです。

無理＝計画に無理がなかったかどうか、最高の条件を見込み（収入）

最少の支出を見積りしていなかったかどうか。

ムダ＝資材、労力、費用、施設等が効率的に行れたかどうか。

ムラ＝経営は継続的に行れるものです。労力、資材、施設はよく経営と結び着いていてほしいようか。

こんな目やすでもう一度見直してみても如何でしょうか。

経営には記録が大切である事は申すまでもありません、大型になればなる程必要が増加して来ます。

よう。農家の場合の記録（簿記）は経営、労働家計に分れます。

農業経営改善のために経営簿と労働簿（作業簿）が必要になります。

これが無いとうとうしてもさきほどの「三ム」の解決にはならないのです。

簿記記帳の方は当然決算作業を行ない、いろいろと検討をすることになります。

帳出来なかつた方や、しなかつた人は農協や商店からの伝票を整理して来年の計画の資料に役立てたいものです。

計画には、単年度計画、年次計画、将来ビジョンとに分れます。

この計画をたてるに当たっては、家族みんなの話し合いが必要と存じます。

これは豊かな将来づくりのため

に、ある時期は家族全員の力と知恵を必要とするからです。納得し理解してこそよい家族関係と経営が出来るものでしょう。

畜 産

乳 牛

一、粗飼料の品質と濃厚飼料

乾草・サイレージとして調製した粗飼料の品質は、原料の状態や調製する時の条件で決ります。

特に今年は一番草の刈り取り時期に天候が悪かつたので、その影響によって乾草、サイレージの品質は平年より悪く、栄養価値の低いものとなっております。

品質の悪い粗飼料を給与しても

ただちに乳牛個体に影響が現れませんが、やがて徐々に泌乳量の減少や健康状態が悪くなり、そのうちにいろいろな生理的な機能障害が現れて来ます。

このようなことは春先に多く見られる現象ですから理解できると思います。

このため給与する粗飼料の品質を十分に考えて濃厚飼料を給与するようにして下さい。

濃厚飼料はタンパク質の多いものを選び搾乳牛には乳量にに応じて増し与えるようにします。

給与する量の目やすは、おおよそ乳量の3程度とし粗飼料の質により更に増すことが必要です。

なおカルシウムやリン、食塩の給与も忘れずに行って下さい。

二、牛舎環境の改善

寒さを考えて暖い室内にすると牛体から熱エネルギーの損失が少なくてすむから飼料効果の低下を防ぎます。

しかし換気が不十分だと、ふんや尿の分解で発生する有毒ガスが充満し、乳牛にとって良い状態といえませんが十分な換気が必要です。

また排せつ物の処理や敷わらの交換、定期的な清掃、消毒をして室内の環境をよくして下さい。

要するに牛舎内での飼養管理作業が快適な気分で行われる状態にすることが、乳牛にとってもよい室内環境ですから是非実行しましょう。

昭和50年度

工業統計調査実施

調査日 昭和50年12月31日 現在
調査対象 町内に於て製造業を営む事業所

町政日誌

十一月

三日 町功労者表彰式

四日 町有林処分地調査

四日 五日

教育委員学校視察

五日 町有林立木処分入札

農林災害査定

六日 交通安全キヤラパン

隊来町

六日 十日

五十年婦人科検診

七日 第十五回寿大学

十日 例月出納検査

十一日 町民憲章制定起草委員会

十二日 開基開町記念式実行委員会

公共土木施設第四次

災害査定

十四日 「交通事故死ゼロ四

百日」目標達成日

危険校舎耐力度調査

佐呂間青年団体協議

会二十周年記念式典

臨時第八回町議会

心身障害児父母の会

結成打合せ会

十九日 第十六回寿大学

二十一日 第十七回寿大学

定例教育委員会

道官烟総事業現地打

合せ会

二十八日 産業工営委員会

二十九日 と場運営打合せ会

いよいよ今月が 最後のチャンスノ

「あなたの年金を活かします」

国民年金に加入もれの人、加入はしていても、納め忘れのある人のためにできた過去(時効)の保険料が納められる「特別納付」がその役目をいたします。

△締切日△も十二月三十一日と迫りました。納めておらずに△期限切△になりますと、

将来老令年金がうけられなくなりです。

もう、ほとんど余裕がありません。一日も早く納め終り老後の年金から取り残されないようにしまし

よう。

まだまだと思いの方……いまさらとお考えの方……

働き盛りのうちは、年金など受ける気持のある人が少ないのは、あたりまえのこと

だと思いますが、今の世の中は、予測の大変むずかしい時代です。社会情勢や経済のしくみが大きく変わり、核家族化が進み、子が親の老後をみるということが、なかなかできなくなりました。

また、平均寿命の急速な伸びにより、老令人口の割合も年々増大しています。働く人と老人との割合も現在七人に一人ですが近い将来には、わずか三人に一人の割合

合いになると予想されています。これでは何らかの備えがなければ、豊かな老後、悠々自適の老後は望めません。老後は近く、そしてきびしく迫っています。長い老後に備え年金の受給権だけは、ガツツリと固めてください。係では皆さんのご相談をお待ちしています。

ご存じですか

お得な国民年金の “附加納付”

国民年金には△附加年金△という仕組みがあります。暮らしに安心をお届けする国民年金は今年もぐんと中身が濃くなりましたが、未だ十分とはいえません。

だれもが、より多くの年金を望んでおりますが、当然のことと



思います。「もっと多くの年金を……」この要望に応えたのが、

定額分保険料に月四〇〇円を納めて年金に一定の額を増加する「附加年金」なのです。

この保険料を納めますと、本来の老令年金が支給されるときに、納めた期間一月あたり二〇〇円の附加年金が加算されます。

たとえば、定額分のみの方がうける年金額は、二十五年納めて年額三十四万円、附加年金を二十五年納めた人の場合は、年額四十万円となります。もし、ご夫婦が共に附加年金に加入し、二十五年かけた場合、年額八十万円、月六万七千円もの年金がうけられます。

一昨年までのキャッチフレーズ「夫婦五万円年金」が本年からは「夫婦六・七万円年金」となりました。また、附加年金に加入した人が納める保険料の額と受ける年金額を比較してみますと二十五年間に三十九万円納めて受ける年金額は年間四十万円です。で大変有利な投資といえましょう。

附加年金制度には、国民年金に加入している人なら、誰でもいつでも加入でき、また、都合が悪くなったらいいつでもやめることができます。

どうぞ皆さん、お気軽に加入して老後の備えを万全にしてください。加入手続きは申出書に年金手帳を添え年金係へ提出するだけです。くわしいことは係にお問い合わせください。

私の年賀状

年賀状を受け取り、それぞれのものを拝見するとき、一年間の御無沙汰と近況を記したもののなかから心のふれあい、その人柄をも感じられるほど楽しいものです。

家中で、これはすばらしいものだとか、美しいものだと語り合い感動させられるものも何枚かあるものです。その感動から私もすばらしいもの、美しい年賀状を作ろうと九年ほど前から年賀状版画をはじめ現在まで続いております。

数年前コンクールがあることを知り出品したが反応はありませんでした。しかし、毎年版画を作り自己批評



をしておりましたが、私の年賀状を楽しみに待ってくれる人も出るようになり、その後、郵便局で年賀状版画作品を受け付ける係というところもあり、昨年から今までの年賀状版画全部を額に納めて郵便局の公衆室に展示して一般からの応募を勧奨したところでした。

昨年応募の第二十四回全日本年賀状版画コンクールに再び挑戦したところ、北海道予選で入選し、中央審査で準佳作入選となり、応募総数七万余件でそのうち入選は六百余件、

年が明け、年賀状に混じり、通信総合博物館で行われた全日本年賀状版画コンクール展を見物した東京の見知らぬ人々から、また、版画同好者の方々から、私の年賀状に対する感想、感動や激励の年賀状数枚が送られてきております。

来年もぜひ年賀状に版画をとり入れた、美しいものを作るとともに同好者を広め、併せて版画を通じてよい人間関係の交流をはかり、青少年の情操教育にも役立てたいものである。

浜佐呂間 須藤 久 幸
浜佐呂間郵便局勤務

年末年始の執務について

役 場	
御用納め	十二月二十七日
御用始め	一月 五日
町営バス	
一月一日	全便運休
一月二日	三日 第一便運休
至	
十二月二十八日	四日
公民館	
佐呂間、若佐、浜佐呂間	
公民館とも十二月二十八日から一月四日まで休ませていただきます	
体育館、老人いこいの家の休館	

ぼくとわたくしの作品

今月は知来小学校のおともだちの作品を紹介します



三年 大山昌子

いきいきとした表現、大きな夢をはらまえています。

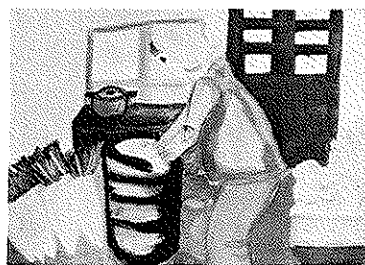


六年 海老名剛子

慎重な作、基本練習をもっと大切に



二年 早坂春美



五年 伊東博美

交通功労者

緑十字賞受賞(全日本交通安全協会長表彰)

浜佐呂間 杉谷正男氏

冬の交通安全運動実施

重点目標飲酒運転をなくしよう

十二月二十一日から三十日まで

白雪に覆われ一面銀世界となりスリップ事故など冬型の事故が多く発生し易い季節となりました。十二月二十一日から全道一斉に冬の交通安全運動が展開されます町民一人一人が交通安全に留意下さり、この旬間中一件の交通事故も出さないよう御協力願います特に次の点は必ず守りましょう

・飲酒運転は絶対にや

道路を広く使いましよう

路上の除排雪に協力願います

交通安全

積雪の季節となると大変なのが雪の捨て場所ですが、例年開発建設部、土木現業所、町工営課などが道路上の除排雪作業を実施いたし

広く使おう みんなの道路



冬の道路を広くする運動

めましよう

・走行中の車間距離はいつもの二倍以上とりましよう。

・スピードは出し過ぎぬよう、ひかえめにましよう。

・スベリ止装置を着用しましよう

・子供の路上遊戯(スキー、スケート、ソリ遊びなど)は止めましよう。

・道路、歩道の障害物件は除去し通行や除排雪の邪魔にならぬようしましよう。

ております 住民のみなさまにはこの除排雪作業に御協力を下さるようお願いいたします。

留意事項

1 除排雪作業の支障となるような道路、歩道上の物件の整理を行うこと。

2 降雪時には絶対路上に車を置き放しにしないこと。

3 市街地の排雪作業の際、道路、歩道上の雪以外(屋根の雪、家の横、裏などの雪)の雪を道路には絶対出さないようにすること冬はどうしても道路巾が狭くなりがちです。みんなの協力により、道路や歩道を広く使い、冬型の交通事故防止に御協力願います。

交通事故死ゼロ 400日 目標達成

500日にむかつて交通事故防止を!!

目標到達日 51年2月22日

佐呂間町交通安全対策本部

水打咄社

十二月例題

霜夜 水濡れ

・願想のつきない霜夜の独り酒
・水濡れて空ら風雲を寄せつけず
・紅葉の中より吾子の友と来る
・脱穀の音に安らぎ見つけたり
・霜強くよい作つくりし大きな手
・落葉はく老後の生きがい求めつ

宮本 千代女
中村 繁容

寄付

社会福祉協議会へ
貳万円也(亡母せい殿香典返し)
若里 定久 保男 殿
壹万円也(亡父籍三郎殿香典返し)
共立 柳原 義一 殿
貳万円也(亡母とく江殿香典返し)
武士 結城ときよ殿
壹万五千円也(亡父義雄殿香典返し)

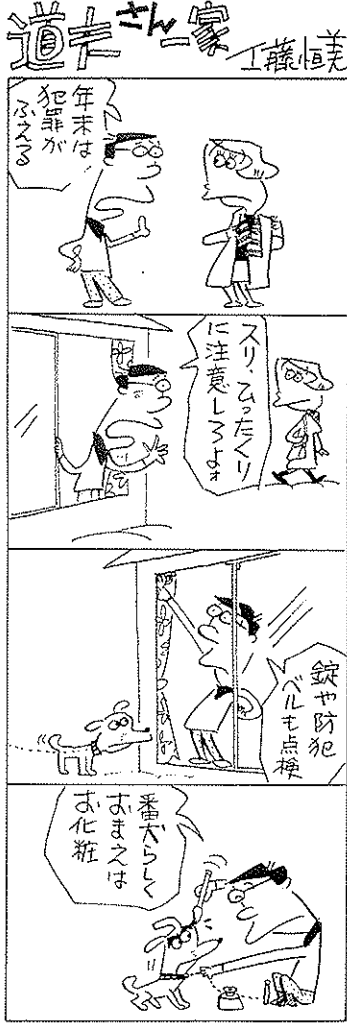
返し) 若里 平谷 義一 殿
三万円也(亡母スズ殿香典返し)
永代町 内柴 久雄 殿
壹万円也(火災見舞御礼を廃し)
浜佐呂間 星 國一 殿
佐呂間町特別養護老人ホームへ
五万円也(亡父義雄殿香典返し)
若里 平谷 義一 殿
壹万円也(金婚式に際して)
知来 中原 金治 殿
五千元也
富武士小学校へ

みかん、おかし類
山崎ビュートイサロン殿
石けん、おむつ、おしぼり、その他
知来 大山 真一 殿
浜佐呂間婦人会殿
永代町 高橋 喜一 殿
佐呂間企業体殿
記念樹

佐呂間保育所のお遊戯会を祝って

高橋 士建 KK 殿
清治 写真館殿
久米牛乳販売店殿
岸 和子 殿
関 東 勝 殿
杉野 邦夫 殿
多田 商店殿
日糧 パン 殿
伊勢谷 商店殿
円 留 作 殿
父兄各位殿
五千元也
大山 榮治 殿
中西 順子 殿

富武士小学校へ



壹万円也(長女彩殿誕生祝いとして)

放送用機械一式
富武士 船木 淳一 殿
富武士 船木 長蔵 殿

富武士保育所へ

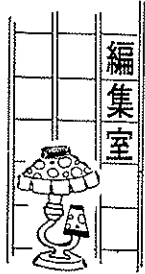
壹万円也(長女彩殿誕生祝いとして)
富武士 船木 淳一 殿

大成、共立、啓生自治会へ

参万円也(離町に際して)
榮 羽二生信二殿

若里老人クラブへ

壹万円也(亡母せい殿香典返し)



昭和の五十年代、幕明として期待された今年も、あと十日余りとなり、石油危機からはじまった世界的な経済不況の波は、私達の身辺にもその余波も受けてインフレ物価高、公共事業の抑制等、私達の生活の中にも大きな影響をもたらし、地方財政にも前途に多難の色がこくなり、又、春以来の天候不順による一部農作物の減収に加えて、九月豪雨による仁倉川の氾濫をはじめ、町内各地に災害をもたらす暗いニュースの中で……老人福祉施設として、特別養護老

若里 定久 保男 殿
壹万五千円也(亡父義雄殿香典返し)
若里 平谷 義一 殿
共立老人クラブへ
壹万円也(亡父籍三郎殿香典返し)
共立 柳原 義一 殿

武士老人クラブへ

壹万円也(亡母とく江殿香典返し)
武士 結城ときよ殿

榮老人クラブへ

貳万円也(亡父宗太郎殿香典返し)
榮 山内 繁美 殿

人ホーム愛の園が開園、観光開発の拠点となるべき国民宿舎「さろま湖華苑」の落成、開基八十周年記念式典の挙行は、新しい年への希望をつなぐものとして期待されています。

今年こそは、よい広報をみなさんにお届けしようと思ひながら、不本意な一年を過ごし、特に毎月初めに配布していた広報も、遂々遅れがちになりましたことを深くお詫び申し上げます。
新しい年は、心機一転して鋭意努力いたしますので、町民皆様の建設的な御意見をお寄せ下さることを期待いたします。